

移ろう前衛

中国から台湾への絵画のモダニズムと日本

呉孟晋（京都大学人文科学研究所准教授） 著



李仲生《コンポジション》1934年頃／二科展絵はがき（部分）

中国、台湾、そして日本をめぐる

モダニズム美術の近現代史

政治動向と不可分に展開してきた中国と台湾の20世紀美術を日本とのかかわりも交えて俯瞰することで、東アジアの近現代美術史に新たな視点をもたらす気鋭の論集。ともすれば一国主義中心に傾きがちな美術史観では捉えきれない作品と芸術家の活動について精緻に検証する。

中央公論美術出版

東アジアをめぐる「前衛」芸術家たちの理想と現実

【目次】

序章	「移ろう」／「映ろう」 絵画
付論一	モダニズムの起源
第一部	広東・上海・東京
第一章	中国絵画の近代化と日本 — 方人定の日本画
第二章	《後園図》をめぐる — 上海モダンと決闘社 — 倪貽徳と陽太陽にみる
第三章	日本の「イズム」のかたち — 日本の前衛画壇と中国の画学生たち — 中華旅日作家十人展覧会から — NOVA美術協会、そして中華 — 独立美術協会へ
第四章	中華独立美術協会の「超現実主義」 — シュルレアリスムをめぐる
第五章	「重訊」的理解について — 李仲生の「ローカルカラー」 — 二科展第九室における — 中国的シュルレアリスムの葛藤 — 誌上の展覧会へ
第六章	「良友」画報にみる — 広東ゆかりの画家たち — 東京、上海、広東、台北をつないで — 重松岩吉の「放浪」と — 須磨弥吉郎の「支援」
付論二	香港の抗日壁画について — 雑誌 Shanghai
第二部	香港・重慶・台北
第七章	日本の「超現実主義」の対決 — 香港の抗日壁画について — 中国的「前衛」絵画の再構築 — 戦時期におけるもうひとつの — 「独立美術展覧会」を手がかりに — 前衛絵画における「個人」と「国家」 — 何鉄華の写真と理論 — 筆墨による和平と抗戦 — 蔣兆和と張善孖の — 対米宣伝の水墨画について
第八章	第三部 台北
第九章	第一〇章 五月画会と東方画会 — 国際的前衛絵画の「制度」構築 — 中国的抽象絵画をめざして — 現代絵画論争（一九六一年） — にみる東西冷戦下の台湾「水墨」画
付論三	第二章 「前衛画家」を演じる — 李仲生の日本的 — アヴァンギャルドをめぐる — 「前衛」芸術の表現空間 — 《「コード」を待ちながら》と — 黄華成のインスタレーション作品 — 戦後台湾美術のモダニズム — 李仲生と劉文潭の「現代絵画」論争 — （一九七九〜八〇）をめぐる — モダニズムのその後 — 台湾のアートシーン — 記憶のなかの「前衛」絵画
終章	記憶のなかの「前衛」絵画



李仲生《作品 037》
1978年
国立台湾美術館蔵



蕭勤《相遇》1961年
蕭勤国際文化芸術
基金会蔵



難波架空像
《蔣介石よ何処へ行く》
1939年 板橋区立美術館蔵



梁錫鴻《教会のある風景》
(NOVA美術協会展覧会がき)
1934年頃 群馬県立近代美術館蔵



陽太陽《静物》1933年



移ろう前衛

中国から台湾への
絵画のモダニズムと日本

呉孟晋 著

定価 7,700 円
(本体 7,000 円 + 税 10%)

A5判上製カバー装
本文 528 頁 口絵 8 頁
ISBN 978-4-8055-0980-7 C3070
2024年2月刊

【著者略歴】

呉孟晋（くれ・もとゆき）

1976年、神戸市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。新聞社勤務を経て、2009年から京都国立博物館にて中国絵画の学芸業務に従事。2021年より京都大学人文科学研究所准教授。専門は近現代を含む中国絵画史。主な共編著に『京都国立博物館須磨コレクション図版目録 齊白石』（中央公論美術出版、2019年）など。担当した主な展覧会には、「中国近代絵画と日本」展（京都国立博物館、2012年）、「国宝」展（同、2017年）などがある。

【芸術選書】最新刊 美術史・建築史分野で普遍性のあるテーマを専門性を担保しつつ、専門家と読者を架橋する新シリーズ



失われた絵画を再生する

デジタル技術を用いた復元への挑戦

木下悠 著

北斎の絵馬、大坂冬の陣図屏風、モネの睡蓮一。本来の姿を失ってしまった絵画作品たち。その再生を目指して、残された写真や模写を、様々な資料とともに読み解き分析していく。画像を受け継ぐ、その方法や挑戦、限界を、復元現場の先頭にたつ開拓者が語るイメージの探検。

定価 3,960 円（本体 3,600 円 + 税 10%）
四六判上製カバー装 本文 240 頁 カラー 24 頁
ISBN 978-4-8055-1503-7 C1071
2024年3月刊



ピラネージ

幻想の建築家

長尾重武（武蔵野美術大学名誉教授）著

来たるべき建築を創造した男一。建築家、舞台美術家、版画家、考古学者、古物愛好家、インテリアデザイナー……。近世から近代に移り変わる18世紀イタリアで活躍したジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージの生涯と作品をたどり、新しい時代に与えた「幻想」の源を遡る。

定価 3,850 円（本体 3,500 円 + 税 10%）
四六判上製カバー装 本文 232 頁
ISBN 978-4-8055-1504-4 C1071
2024年3月刊

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い